

式 辞

厳しかった冬もいつしか過ぎ去り、桜の花が咲き誇り、野山の木々の新芽も息吹き始めたこの春の佳き日に、同窓会長の中山緑朗（なかやま ろくろう）様、PTA会長の小野浩一（おの こういち）様を始めとし、多数のご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、平成二十七年度栃木県立宇都宮東高等学校並びに附属中学校の入学式を盛大に挙行できますことは、私どもの大きな慶びとするところであります。

ただ今、入学を許可いたしました宇都宮東高等学校五十三期生、百六十名、附属中学校九期生、百五名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、本日のお子様の晴れ姿を目の当たりにし、

慶びも一塩かと存じます。誠におめでとうございました。

さて、宇都宮東高校は、昭和三十八年四月、宇都宮市内に宇都宮高校以外の普通科男子校の設置を望む県民の熱い要望が実り、この石井の地に普通科男子校として開校し、今年で五十三年目を迎えております。さらに、平成十九年四月には、栃木県で最初の県立附属中学校を併設する中高一貫教育校として、新たな歴史を刻むことになり、中高一貫教育導入から九年目を迎えております。今年の三月には、附属中学校三期生を含む百五十四名が宇都宮東高校を卒業し、これまでに一万五千名にのぼる卒業生が宇都宮東高校を巣立っております。卒業生は、保護者の皆様、同窓会の先輩諸氏、さらには地域住民の方々からのご期待とご支援に後押しされ、輝かしい実績を築き上げると共に、

本県のみならず、全国各地、さらには海外においても様々な分野で活躍しております。

ここで、去る三月に宇都宮東高校を巣立った卒業生の大学の合格状況についてご紹介いたします。東京大学に六名（その内一名は女子生徒でした）、京都大学に三名、その他、大阪大学、東京工業大学、東北大学、北海道大学、筑波大学などの難関国立大学、慶応大学、早稲田大学、東京理科大学などの難関私立大学にも多数合格いたしました。これは正に本校の中高一貫教育の成果の現れだと自負しております。この状況に満足することなく、保護者、生徒の皆さんのみならず、同窓会の会員の皆様の期待に応えられるよう、教職員一同、気持ちを今一度引き締め、新入生の皆さんを強力にバックアップして参ります。

さて、本日の入学式は、新入生の皆さん一人

ひとりが、これからの六年間又は三年間の本校での学校生活を充実したものにしようという決意と覚悟を新たにします。

そのような意義ある入学式にあたり、私からは皆さんに期待したいことを三つお話しいたします。

一つ目は、「常に理想への挑戦者であれ」ということです。この言葉は、日本を代表するイケメン歌手、俳優である福山雅治（ふくやま まさはる）の「ヒューマン」という歌の歌詞の一節です。私は、理想を求め、夢を追求することは若者に与えられた特権だと思っています。理想を求め、夢を追求する過程では、多くの試練や挫折を経験することになると思いますが、これらの試練や挫折は全て皆さんを大きく成長させてくれる糧となるものです。新入生の皆さんには、ぜひ、その過程で自分の中に埋もれてい

る様々な可能性を掘り出して、現実のものとしていただきたいと思います。そのためには、たゆまぬ努力と、仲間たちとの切磋琢磨が必要不可欠です。学業に真摯に取り組むと共に、ぜひ運動部や文化部に所属し、部活動にも積極的に取り組んでもらいたいと思います。また、学校生活を思い切り楽しみ、充実したものとするためには、肉体的にも、精神的にも健康であることが不可欠です。健康の維持のためには、規則的な生活や食の充実が何よりも大切です。保護者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

二つ目は、「人との出会いを大切に」ということです。新入生の皆様は、この春、新しい先生方、同級生や先輩方など多くの人との出会いを経験することになります。もしかすると、その中にこの先の自分の人生を大きく左右するよ

うな、自分にとって掛け替えのない大切な人がいるかもしれません。特に、共に学び、共に悩み、共に励まし合うことのできる真の友人は、普段の授業はもちろんのこと、部活動、様々な学校行事、生徒会活動などの学校生活における切磋琢磨の中から生まれるものであり、一生の宝となるものです。また、ここにおられる先生方ともよく話し合ってください。若い先生方も、ベテランの先生方も、本県を代表する優秀な先生方ばかりです。皆さんの成長のための力になりたいと教育に情熱を傾けている先生方ばかりです。先生方との触れ合いが皆さんを大きく成長させるものとなることと信じております。

三つ目は、「何ごとにもポジティブシンキングでいこう」ということです。これから先の学校生活は決して楽しいことばかりではありませんせん。時として、自分にとって嫌なことにも、自

分にとって苦手なことにも取り組まなければなりません。そのような時にこそ、消極的になったり、落ち込んだりするのではなく、もがき苦しみながらも前向きに取り組んでみましょう。

「宇東高新聞」にも書きましたが、私が好きな沖縄の方言「なんくるないさあ」、正式には「まくとうそーけーなんくるないさあ」という定型句で用い、「人として挫けずに正しい行いをしていれば、自然とあるべき様になるものだ」という意味ですが、正にその「なんくるないさあ」の精神で行きましょう。また、前向きに取り組んだ結果が失敗であってもいいのです。「失敗は成功のもと」とも「成功の母」ともいいます。ニュートンやエジソン、アインシュタインといった名だたる天才達でも、多くの失敗を積み重ね、それを乗り越えることによって大きな業績を成し遂げたのです。失敗をおそれずに、何ご

とにも前向きに取り組みましょう。

最後になりますが、ご臨席の保護者の皆様に改めてお願いがございます。本校では、教職員が一丸となり、確かな学力を身に付けた生徒、人間性豊かで社会の発展に貢献できる生徒、科学的な見方や考え方を身に付け新しい知識の創造に貢献できる生徒、未来を切り拓く意志と実践力を身に付けリーダーとして活躍できる生徒の育成にあたっております。新入生の皆さんは無限の可能性を秘めたダイヤの原石です。磨けば磨くほど輝きを増していきます。保護者の皆様におかれましては、学校と共に手を携えてお子様の成長を応援していただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、新入生の皆さんの本校での生活が明るく楽しく充実したものとなることをご祈念申し上げます、また、本日お忙しい中、ご臨席を賜

りましたご来賓の皆様を重ねて御礼申し上げます。
して、式辞といたします。

平成二十七年四月七日

栃木県立宇都宮東高等学校並びに附属中学校

校長 大橋 芳 樹